

これまでの観光未来戦略の取組について

■ 鹿児島市の概要・特色

1 鹿児島市のプロフィール

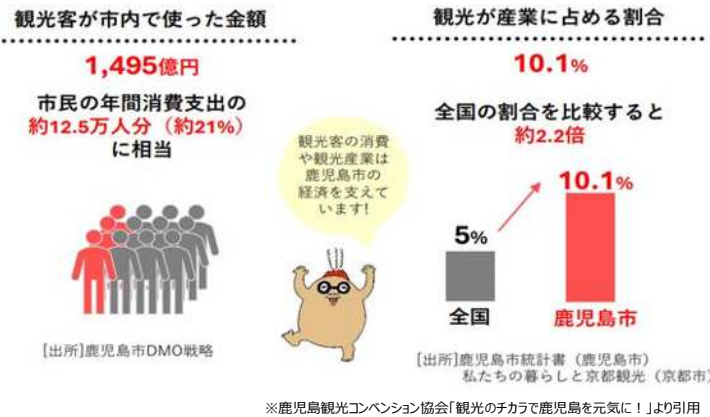
本市は、南九州における産業活動の拠点として重要な役割を担う都市であり、また九州新幹線をはじめとする陸・海・空の交通ネットワークが充実した交流拠点都市でもあります。

＜基本データ＞

- ① 面積 547.77km²
- ② 世帯数・人口 288,185世帯・578,709人（※中核市第3位（令和8年1月1日時点））
- ③ 主な産業 商業・サービス業を中心に、食品関連製造業、流通業が集積。
- ④ 主な交通拠点 鹿児島中央駅（九州新幹線・J R各線）
鹿児島中央バスターミナル（鹿児島空港連絡バス・福岡・熊本行き高速バス等）
鹿児島港（鹿児島本港（桜島フェリー）・マリンポートかごしま（クルーズ船）等）
- ⑤ 気候の特徴 温暖多雨で年間を通じて比較的温暖で四季を通じた観光が可能

2 鹿児島市の産業における観光の位置づけ

- ・商業・サービス業を中心に構成される本市産業ですが、その中でも観光業は約10%を占めており、全国の割合と比較をすると、約2倍となっております。
- ・本市にとっての観光は、地域経済を支える重要な産業となっています。



■ 鹿児島市が観光に注力する背景

1 人口減少に伴う個人消費の減少の見通し

- ・本市人口はR9年から13年までの5年間で約1.2万人減少する見込みであり、これに伴い、個人消費は約162億円減少(5年間累計)すると見込まれます。
- ・人口減少は第4期戦略策定時(R3年)の推計を上回るペースで進行しており、本市を取り巻く社会経済環境は一層厳しさを増しています。

2 観光における経済効果

- ・観光は幅広い業種に関わる裾野の広い総合産業であり直接・間接の消費拡大や雇用創出など地域経済全体への大きな波及効果が期待されています。
- ・このため観光を成長の柱とし、人口減少による消費減を上回る観光消費を創出し、地域経済の活性化と雇用確保につなげることが重要と考えられます。

3 本市観光の優位性

- ① 個性豊かな地域資源（桜島・錦江湾、歴史・文化、温泉など）の集積
 - ② 陸・海・空の広域交通の拠点
 - ③ 高次都市機能の集積と豊かな自然
- ➡優位性を生かした観光振興により、地域経済の活性化を図ることが重要です。



■ これまでの観光未来戦略の取組

